

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間の持つ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なことでお悩みの方もぜひ御一読ください。

健康新聞

発行所
発行人

新健康協会

〒813-0001

福岡市東区唐原6-7-1

TEL:092-661-1531

https://shinkenko.jp



次の御論文は、明主様(当協会の教祖)が、昭和二十六年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

医学の盲点と自然良能力

現代医学の誤っている事は、常に私の唱えている通りであるが、その中で最も誤っている点は何かという点、人間が先天的に保有している自然良能力を全然無視している事であって、それはこうである。

今仮に、病気に罹るとする。早速お医者に診てもらおうと、お医者「早く来てよかったですね、もし手遅れになると飛んでもない事になるところでした」と言うのはよく聞く話であって、全く医学では発病するや放っておくと、ますます悪くなるように思うからである。そこで極力それを食止めるべく薬剤をはじめ、種々の療法を行うのであるが、これにみても医学は手遅れになるのを大いに嫌い、何でも早いうちに食止めなければいけないと思う点に、大変な誤りがある事を教えなければならぬのである。何となれば、病気とはいっても通り毒素の排除作用であるから、そのまま放っておけば順調に排除されてしまい、病気は治るに決まっている。即ち熱、咳、痰、鼻汁、汗、下痢、痛み、痒み等あらゆる苦痛がその為であるから、少し我慢さえすれば、汚物は出るだけ出て体内は綺麗になるからである。としたら手遅れなどという意味はない訳である。ところがこの理を

知らない医学は、反対の解釈であるから、放っておく事を非常に恐れ戒める。つまり出ようとする汚物を出さないようにして、固めるのをいいとしている。これでは病根根治など出来ないのは当たり前である。それから今一つの医学の盲点は、よく怪我をしたり、火傷などと、大抵は膿むことになるが、これを又非常に恐れ、膿を出さないよう種々の方法を行なうが、これも大変な間違いである。というのはそういう刺激によってその部へ毒素が集まるもので、どんな人間でも必ず相当量の毒素を保有しているから、何かの機会があれば体外へ排泄されようとして、忽ち傷口目がけて集中し、排泄されようとするのであるから、化膿の部分が大い程毒素も多く出る訳で甚だ結構なのである。ところが医学は化膿するのは細菌が侵入して繁殖する為と、悪い意味に解釈するから、極力化膿を止めようとして殺菌剤などを使い、冷やしたり、注射をしたり、安静にしたりして、色々な手当を行なう。という訳で吾々から見れば、馬鹿しい程の逆を行なっている訳である。ところがこの殺菌剤が問題である。というのは、これがまず筋肉から透過し、時日が経つと恐るべき中毒作用を起こす事になる。何しろ如何に微細な細菌といえども、生物である以上、それを殺す程の薬剤としたら、人体に与える影響も又甚だしいのである。それで消毒剤が古くなると猛毒に変化し、早晩この浄化が起こる。即ち発熱、痛み、不快感等非常に悪性の悩みで、その際医師にみせると原因不明の病気と言われるが、何ぞ知らんこの原因こそ医療が作ったのであるが、まさか医師としては、消毒剤が原因であるなどは夢にも思えないから、治療の施しようもないというのはよく聞く事である。

す自然良能力をもっているとしたら、この良能力を尊重し、発揮させる方法こそ、真の医学であるべきにかかわらず、かえってその良能力を阻止するのを可として、それを進歩させるのであるから、如何に誤っているかが分かるであろう。これは理屈ではない、何よりも事実がよく示している。仮に感冒に罹るとする。これを最初から何もせず放っておけば、前述の如くすみやかに治つてゆき、普通一週間位で済むものを、医療を受ける三週間も四週間もかかる事になる。しかも自然療法なら、支障なく順調に治つてゆくが、医療を行なうとなかなか治らない。余病が併発したり悪化したりする。中には結核になる人さえある。しかし、たまたま医療で治る事もないではないが、それは医療の妨害に勝つという旺盛な治病力の持主だが、こういう人は誠に少なく、大部分は溶解毒素が一時的にもせよ固まって全快したようになるのである。

以上によつて大体分かったであろうが、事実現代医学は大いに進歩したように見え、有難がっているところにその迷妄さがあるのである。

以上によつてみても、人間は自然良能力という、医療も及ばない程の素晴らしい治病力を天から与えられている以上、これを知っただけでも如何に大きな幸福を掴み得たかである。ところが本教浄霊は、その自然良能力をより強化し、より促進させる方法であるから、最も進歩した合理的治病法である事を知るのである。

浄霊体験記

2ページ
3ページ

- アトピーから救われ幸せな人生を…
- 浄霊による奇跡結石が自然に出る…
- 毒素が排せつされ元気で長生き…
- 首と喉の痛み完全に良くなる…

浄霊によって病苦から救われると共に運命が向上し、幸せになられた方々の体験手記でございます。

アトピー性皮膚炎

アトピーから救われ
幸せな人生を…

宗像支部
岡田孝秋(67)



私は生まれて間もなく、顔や肩などに湿疹が開始めたらしく、近所の人より「お乳負けでしょう、そのうち良くなるよ」と言われたそうですが、中々良くなりませんでした。気になった母は私を背負って病院へ行きました。母はその時のことをよく話してくれていて、「一日がかりやったよ」と言っていました。

の大病院まで色々な皮膚科の病院の送り迎えをしてくれました。現在はあまり珍しくない病気のようなですが、当時(昭和三十〜四十年代)は、私の他にはあまりいなかったようです。小学生の頃は朝病院へ行き、血管注射と太陽灯の治療を受け、塗り薬をもらって学校へ行くことが日課でしたので、遅刻して行くこともありましたが、肘の内側や膝の裏側など、汗が出るととても痒くなり大変辛い思いをしました。祖父が漢方薬を持ってきてくれて、ひと夏頑張って飲みましたが、あまり効果はありませんでした。他に温泉や神様参りなどもしましたが、そう長くは続きませんでした。中学、高校の時は塗り薬を大量(一カ月分)にもらい、毎日風呂上がり塗っておりました。薬を使っている時は痒みもなく皮膚はきれいだったので、少し良いと思って薬を使わなくなると、すぐ痒みなど酷くなりました。

このままで良いのだろうか…

用である」ということを聞き、そんなことがあるのだろうか…と驚きを隠せませんでした。しかし、実際に浄霊を受けると、薬を使用しなくても湿疹が薬で辛くはありませんでした。時に湿疹がかゆくなくても浄霊を受けるとかゆみが落ち着きました。浄霊を受けることで浄化作用が促進され、お小水や湿疹部分から汁や膿が毒素として体外に出る…それによって体内が綺麗になって楽になっていく…正にその通りでした。以前は薬を使っているとかゆみで辛かったので、不思議な感覚でした。こうして浄霊を受けることで身体の苦痛がなくなり、心も楽になり、心身共に幸福になっていきました。浄霊は本当に素晴らしい…と感動した私は、新健康協会を知って一カ月後の昭和五十二年二月に入会しました。それ以来全く薬に頼ることもありません。またあれ程辛かった湿疹もきれいに良くなりました。



それから早四十数年が経ち、結婚もして家族も出来ました。その間風邪を引いたり、ケガをしたり、車での事故があったりと、生活上でも様々なことがありましたが、浄霊を受けることで家族皆元気に過ごすことが出来ています。こうして日々安心して生活が出来ているのも、明主様のおかげですので心から感謝申し上げます。この有り難さを世の中の人に早く知ってもらいたいと思い、体験談を書かせていただきました。誠に有難うございます。(福岡県古賀市)

台湾

浄霊による奇跡
結石が自然に出る…

台湾・九曲堂連絡所
林顔美(69)



二〇二〇年十月四日、その日は朝から腹痛がありました。痛んだり治まったりしていましたが、あまり気にしていませんでした。五日の朝、いつものように農作業をして、昼ご飯を食べるために自宅に帰りました。ご飯を食べ終えると、全身に冷や汗をかき、嘔吐が止まらなくなりました。腹痛もひどくなり、家族も心配していましたので病院へ行きました。病院ではレントゲン検査、エコー検査をしましたが、何も見つかりませんでした。

私は二〇一三年に浄霊を知り、入会もしてましたので、「明主様にお願いたしたい」と思い、夫からずっと浄霊を受けました。浄霊を受けていますと、痛みと共に左の輸尿管の辺りから何か下りているのを感じました。その為CT検査を受けることになりました。しかし、その検査でも何も分かりませんでした。その後すぐに尿意を催したので、お手洗いにきました。すると、すごい量のお小水が出て、その時に何か音がしましたので便器の中を見てもみすと、大きき一・五センチ×一センチ程の薄黒い色の結石が出ておりました。結石が出た後は痛みがなくなりました。そして、浄霊を受けることで体力もすぐに回復し、二日後には退院することが出来、すぐに農作業にも復帰することが出来ました。おかげ様で大きな結石にも関わらず、人工的に結石を取り除くことなく自然に排泄出来たことはとても有難いことだと思っています。また病院では、痛みの原因すら分かりませんでしたので、浄霊を受けてよかったと心から思いました。また私は、協会にご縁をいただく以前(今から二十数年前)に、腎臓萎縮があると知られていましたが、二〇一三年から浄霊を受けてきましたので、医者に腎臓萎縮のことを聞いてみますと、「腎臓萎縮は完治している」ということでした。一般的にはこの腎臓萎縮が元通りに修復することはないと言われていたのですが、浄霊を受けることで改善したと思っております。驚くほどの奇跡に、明主様への感謝の想いでいっぱいでございます。早く世の中の人が浄霊を知ることが出来たらと思っております。(台湾・屏東県)

足の激痛・腫れ

毒素が排せつされ

元気で長生き…



荒尾支部 林節子 (88)

私は今まで、心臓や腎臓、肝臓等、内臓は全部と言っているほど、ありとあらゆる病気になるりましたが、その都度、浄霊で救われてきました。おかげ様でこの歳まで長生きさせていただいています。

二〇二一年の二月、朝目覚めると腰から臀部、足にかけて激痛があり、少し動かすだけでも痛みが走る状態で、寝たまま全く動けなくなっていました。なんととか支部に電話をし、支部の人に来てもらって浄霊を受けました。

おかげ様で痛みが少し楽になりましたので、それから毎日家に来てもらって浄霊を受けました。また、近くに住んでいる娘にも来てもらい、浄霊を受けたり家事してもらったりしました。

四、五日経った頃には段々と痛みも

引いていき、少しずつ座れるようになって隣の部屋まで歩いて行けるようにもなりました。この時、左足が足の甲までパンパンに腫れていたため、友人が心配して一緒に病院へ行くことになりました。検査の結果、骨折はしていません。足の腫れの原因も分からないというので、湿布をして包帯を巻き、固定して帰ってきました。

しかし、その日の帰宅後、私は体調が悪くなってしまいました。そして翌日も病院に行くことになり、友人が車で迎えにきてくれました。すると友人はその様子を見て驚き、「林さん、昨日病院に行く前までは浄霊でどんどん良くなっていったのに、今日はどうしちやっただの？今から病院に連れて行く予定だったけど、今日は代わりに浄霊に連れて行くよ！」と言って、支部まで連れて行ってくれました。(友人は未会員ですが、三十年来の付き合いで、今まで私が浄霊で元気になってきているのを見ていました)

支部に着いた時は歩くことが出来ませんでした。浄霊を受けると、支えられてなんととか歩けるようになりました。悪寒がしていたのですが、それも治まり、気分も良くなりました。

その上、浄霊を受けている間に気持ち良く眠り始めたので、友人も「気持ち良さそうね、私も浄霊を体験してみたい」と言って浄霊を受けました。このことがきっかけで友人も「浄霊は良いね」と分かってくれて、他の友人たちにも「林さんは浄霊で楽になったよ！」と話してくれたので、他の友人も浄霊を体験してみたいと、支部に来ました。友人たちに浄霊の有難さを分かってもらえる良い機会をいただきました。

おかげ様で、その後も毎日浄霊を受け、徐々に足の腫れも引いていき、痛

浄化作用

人間には体内の毒素 (= 汚物) を排除して健康を促進しようとする働きがあります。これを称して自然良能力と言います。

例えばカゼの場合、体内にあってはならない毒素を溶かすために熱が出ます。溶けた毒素が汗やタンとなって排せつされるので体の中が掃除され、清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。ですから浄化作用は、熱や痛みを伴うので苦しみがありますが、体を健康にする大切な清掃作用でもあるのです。

みも軽くなっていききました。最初は歩くのがやっとでしたが、段々と手押し車を使って歩けるようになり、その次は杖になり、最後は杖なしで歩けるようになりました。支部に行けるようになってからも、最初は二階まで上がれませんでしたが、そのうち階段も上がれるようになりました。

おかげ様で、皆に助けられながら元氣になりました。明主様を信仰していることがとても有難いです。誠に有難うございました。(熊本県荒尾市)

ネパール

首と喉の痛み

完全に良くなる…



ネパール・キルティプール支部 ラジニ・スレスタ (62)

私は五十歳頃から甲状腺と首の痛みを覚えるようになりました。何が原因かは分からないのですが、痛みで苦しんでいました。病院に行き検査等もしたのですが、なかなか痛みは良くなりませんでした。どうしたら良いか分からない状態でした。

そんな時、近所の人から「病院に行っても良くならないなら、浄霊を受けてみては…」と浄霊を勧められました。私はこの首の痛みが楽になるのであれば試してみたいと思い、キルティプール支部に行きました。

初めて浄霊を受けると何だか痛みが和らぐような、今までにない感じになり、とても嬉しくなりましたので、その日から浄霊を続けるようになりました。

おかげ様で薄紙をはがすように徐々に痛みが楽になっていき、浄霊を受け

始めてから五年後には喉の痛みが完全に治りました。その後、甲状腺が痛むこともなくなり、本当に嬉しかったです。明主様に心より感謝申し上げます。

私はこの時の浄霊の素晴らしさに感動し、その後も浄霊を続けました。そして二〇一五年に入会しました。

その後、二〇二一年頃から両手足の裏の皮膚が赤くなり痒くなるようになりました。私は何の病気か分からず不安になりましたので、病院に行き検査をしましたところ、「乾癬」と診断されました。私はこの時もすっかりと浄霊を受けて良くなりました。毎日支部に行つて浄霊を受けると、徐々に良くなっていき、痒みも自然と落ち着くようになりました。本当に浄霊は素晴らしい、この健康法を一人でも多くの方にお伝えしていきたいと思っています。

明主様、誠に有難うございます。(ネパール・キルティプール)

浄霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。

まずは試されてみてはいかがでしょうか。

自然農法

自然農法体験談



田川支部 石元実代子 (67)

一昨年4月に田川郡大任町おおとうに無肥料・無農薬栽培が条件の貸農園が開園し、早速会員有志の方々で長年の念願でした明主様の自然農法の実行に取り組み始めました。無農薬・無肥料だけでなく、土に入れるものは農園内で生えた草などのみで外部からのものは一切持ち込み禁止、水も貸主さん宅にある井戸水のみ使用という条件ですので、明主様の自然農法の実行には最高の理想の貸農園だと思いました。

昨年で2年目を迎えましたが、私は耕作面積を昨年の6㎡(約1・8坪)から9㎡(約2・7坪)に少し増やしてチャレンジしてみました。作り直したのは一昨年に引き続き落花生、ジャガイモ、里芋、そして新たにスナップエンドウ、グリーンピース、シヨウガ、キュウリ、万願寺トウガラシ、つくね芋、ゴーヤ、ミニトマトを植えてみましたが、今年の長期間の暑い気候の影響もあってか、成長に苦戦するものが多かったです。その中でもスナップエンドウ、グリーンピース、シヨウガ、キュウリ、万願寺トウガラシ

自然農法とは自然を尊び、愛情をかけて育てること、自然力を生かす農法です。

はよく出来ました。また次回の作付につながるために、出来る限り種を採つていきます。

今後の目標としてはニンジン、玉ねぎ、葉物野菜などにも挑戦して種類を増やして行きたいと思っておりますが、自然農法を始めてから知り合いの方々にもこの大切さと素晴らしさを伝えておりまして「私もやってみたい!」と言われる方が生まれ、その方々との自然農法の情報交換の中でコミュニケーションの輪が広がっており、お互いに喜びあっております。おかげ様で昨年も12月3日に新健康協会総本部で行われました自然農法展示会に落花生、シヨウガを出品させて頂く事が出来ました。

今後も更に土作り、自家採種などに精進して、少しでも早く世界中に自然農法が普及するように念願し、微力ながらも努力して行きたいと思っております。誠に有難うございます。

(福岡県田川郡)



石元さんの畑で育ったシヨウガ

美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにする事ができます。

歌川広重作

『名所江戸百景』之内

『王子装束系の木大晦日の狐火』

夜の闇に包まれた村落の中、大木のまわりに集まる狐たち。濃紺の画面のなかでそれ自体が発光するかのよう狐火が灯る幻想的な光景です。目を凝らすと、狐の影、そして炎が見え、右奥の家の並ぶ山林のほうへと狐火の群が連なっていることが分かります。葉の落ちた大木に目を戻せば、左奥にもう一樹、松の木があるようです。夜空には星が瞬き、狐たちの側には稲藁も干されていて、暗闇でも暮らしの気配や土地固有の情景が細かく丁寧に描き込まれています。

本作は歌川広重『名所江戸百景』内の一作、『王子装束系の木大晦日の狐火』です。大晦日の夜、閑東中の狐が集まり、榎の木の下で装束を整えて参詣したという、現在の東京都北区にある王子稲荷神社にかかわる伝承をもとにした場面が描かれています。ですので狐の集うこの大木がタイトルにもある「装束榎」と呼ばれた榎なのでしよう。ちなみに本作が描かれる少し前の時代に、狂歌師として知られる大田南畝が「むかしは装束松といひしも、今はいつしか榎にかはれり」と書いているので、ひよっとすると左奥の松と合わせてこの伝承をよりそれと分かるように表現しているのかもしれない。

そもそも「狐火」というのも原因不明の怪奇的な現象で、その火を灯しているのが狐だとするのでも、現実とは異なる層にある言い伝えです。そんな不可思議な存在である狐と炎をこれほどはつきりと実際にある土地に描き出しているのは、少な

くとも『名所江戸百景』のなかにはなく、際立つて異彩を放つ作品に感じられます。

伝承には、このあたりの農家が、大晦日の狐火の数で新年の豊凶を占ったということを含んでいます。つまり信仰とまではいかなくとも、この言い伝えは農作を行う人々の実生活と結びついていたわけですね。広重はよく知られたこのお話を、人々の暮らしの実感のとても近いところにあるものとして描き出したのではないのでしょうか。平成五(一九九三)年の大晦日から、この伝承をもとにした本作を再現しようと、狐に扮した人々が王子稲荷に初詣をする「王子狐の行列」というイベントが行われており、毎年賑わいを見せているそうです。伝承が絵を通して今の生活に伝わっている例といえます。

解説 松田愛子



清明会館

「暮らしと花鳥風月」後期展
期間…1月7日(日)〜5月14日(火)

※清明会館お問い合わせ ☎092(661)1535

健康新聞についてのお問い合わせは

(092)661-1531まで